

日退教発 16 - 17 号
2016 年 6 月 27 日
(FAX 送信済み)

日本退職教職員協議会
各単会 会長様

日本退職教職員協議会
会長 西澤 清

「沖縄と連帯する日退教第7次沖縄交流団・その2」

団員の募集について《再案内》

さる 6 月 19 日、沖縄では、元海兵隊員による女性殺害遺棄事件に強く抗議するとともに、被害者を追悼し、米軍人・軍属による凶悪事件を二度と繰り返させないため、沖縄から海兵隊の撤退を求める県民大会が 6 万 5 千人の結集で開催されました。その日は東京・国会前(約 1 万人)をはじめ、32 県 40 箇所と呼応する行動がとりくまれました。

戦後 71 年経過してなお、0.6%の面積に 74%の米軍専用施設が集中する沖縄で、起こるべくして起こった事件であり、日米両政府、特に米国追従を高らかに謳う日本政府の責任は決して免れません。基地があるが故に繰り返される残忍な事件はこれで終わりにしなくてはなりません。

日退教はこれまで 6 次にわたり沖縄交流団を派遣し、現地沖縄で退教の仲間と合同の学習を行い、さらに退教の皆さんの案内でフィールドワークにとりくんできました。昨年度(2015 年度)は、辺野古キャンプシュワブ前 1 日座り込み行動を 5 月から 10 月まで月 1 回、都合 6 回にわたってとりくみ、延べ 86 名(他に各単会独自行動あり)の会員が参加しました。今年度は去る 4 月に第 7 次交流その 1 を実施してきました。

安倍政権は普天間基地撤去については辺野古移転を唯一の選択肢とする姿勢を全く変えようとしていません。

つきましては沖縄県・高退教の協力により、下記日程において、第 7 次交流(その 2)を企画しました。現地で新基地建設に反対し行動する県・高退教の仲間、県民・支援者とともに短時間ではありますが、座り込み抗議行動に参加するとともに、あらためて基地の現状を学習する機会としたいと思います。

各単会会員の皆さんの積極的な参加を要請します。

記

「沖縄と連帯する日退教第 7 次沖縄交流団 その 2」 沖縄の基地の現状を知ろう
学習と交流・懇親の旅

1 日程 2016 年 10 月 2 日(日) 合同学習会(於・教育福祉会館)
13:30 受付

14：00 合同学習会

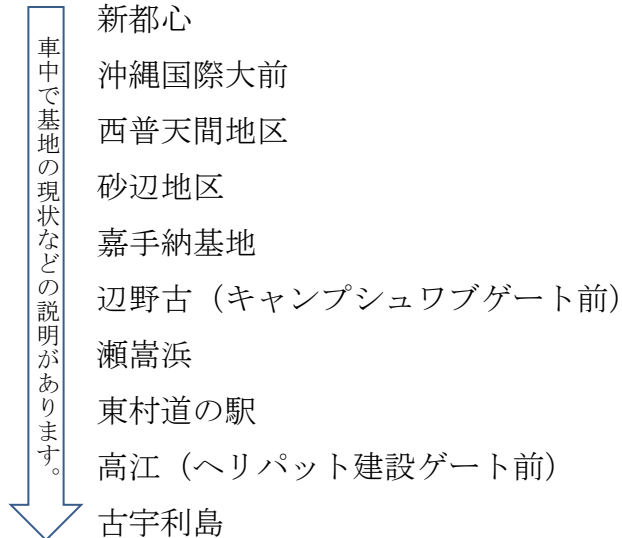
講演 「沖縄・反基地のたたかい」(仮)

講師 山城博治さん(沖縄平和運動センター議長・予定)

10月3日(月) フィールドワーク(行程は予定です)

(基地の現状、辺野古テントでの座り込み)

8：00 集合・出発(教育福祉会館駐車場)



18：00 那覇着(沖縄県教育会館)

18：00 交流・懇親会

20：30 解散

- | | |
|----------|--|
| 2 募集人員 | 40人 |
| 3 集合・解散 | 現地集合、現地解散となります |
| 4 交通・宿泊 | 現地までの交通手段、宿泊は各自ご手配ください。 |
| 5 参加費 | 10,000円(バス代、昼食代、会場費、講師謝礼、懇親会代、 <u>実費精算</u>) |
| 6 申込締め切り | 参加申し込みは各単会へ(9月16日(金)日退教締め切り) |
| 7 その他 | 日程詳細は参加者に連絡いたします。 |

以上

「沖縄と連帯する日退教第7次沖縄交流団-その2」

2016年10月2日（日）～3日（月）

参加者申込み名簿

申し込み日 2016年 月 日

単会名	
連絡責任者	

参加者お名前（年齢）	(〒) 住 所	電話《できれば携帯》	Fax
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		

注 「第7次沖縄交流団-その2」参加者申し込み締め切りは9月16日（金）です

（会員への連絡周知の関係でさらに遅れる場合はご連絡ください）

日退教 FAX 03-5275-2081